

御社内限

日本ファイナンス学会 特別公開セッション

日本ファイナンス学会、環境経済・政策学会、エネルギー・資源学会 合同シンポジウム

欧州におけるサステナブルファイナンスの潮流



環境省 第2回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」
投資家部門 環境大臣賞（金賞）受賞

金融商品取引業者: 関東財務局長（金商）第378号
加入協会: 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会
日本証券業協会
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

2023年11月11日



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The sustainable investor for a changing world

日本ファイナンス学会



1993年創設

活動目的：ファイナンシャル・エコノミクス（金融経済学）の分野で理論、実証、および、応用研究を行い、最新の研究成果の発表と議論の場を設けることにより、わが国ファイナンス研究の推進母体となること

- 大会・研究会等の開催
年次大会、秋季研究大会、海外のファイナンス学会との共同国際大会、研究観望会、特別講演会等
- 学会誌の発行
英文機関誌「International Review of Finance」
邦文機関誌「現代ファイナンス」（MPTフォーラムと共同）
- 学会表彰 学会員の優れた研究成果に対して研究奨励賞を授与
- 大会における研究報告の主要テーマ
資産価格、リスク管理、信用リスク、コーポレートファイナンス、行動ファイナンス、ESG、社会的投資、投資家選好とポートフォリオ選択、個人投資家行動、投資信託、金融仲介、企業価値と無形資産、債券市場、金利デリバティブ、株式市場、マーケット・マイクロストラクチャー、M&A、企業価値、年金資産運用、経営戦略とファイナンス、金融市場とマクロ経済、非伝統的金融政策と株式市場、情報と株価、



BNPパリバグループ概要

BNPパリバ・グループ ⁽²⁾		
設立	資本金	社員数
1822年	920億ユーロ Tier 1	およそ190,000人 全世界の社員数
拠点数	業績	格付
65か国 全世界の拠点	22億ユーロ 純利益グループ帰属分(2022年第4四半期) ⁽³⁾	A+ ⁽⁴⁾ Aa3 ⁽⁵⁾ AA- ⁽⁶⁾ S&P Moody's フィッチ




BNPパリバ・アセットマネジメント

運用資産総額*	社員数・拠点数	うち、機関投資家向け*	うち、ESG投資*
5,010億ユーロ	およそ3,000人 ⁽¹⁾ 30か国 ⁽¹⁾ 全世界の社員数・拠点	3,030億ユーロ	3,068億ユーロ

*運用資産残高全体、およびそのうちの機関投資家向けの残高、ESG投資の残高を記載。ESG投資の残高は当社のグローバル・サステナビリティ戦略に準拠しているもの。

(1) 合併会社を含む (2) 出所：BNPパリバ、2022年12月31日時点 (3) 純利益グループ帰属分(2022年通年)は102億ユーロ (4) S&P 2022年4月25日時点 (5) Moody's 2022年7月5日時点 (6) フィッチ 2022年9月13日時点

目次

	1. 欧州のサステナブル・ファイナンス市場及びエコシステム	p 4
	2. 欧州責任投資・ESG投資規制動向	P 21
	3. BNPパリバ・アセットマネジメントのESG投資	p 26

1 欧州サステナブル・ファイナンス市場 及び エコシステム



EU サステナブル経済への道

- 2011年「2020年EU生物多様性戦略」
- 2015年「サステナブルなEU経済2035年への道」
- 2015年「EUサーキュラーエコミー行動計画」
- 2015年「パリ協定 Paris Agreement」採択
- 2019年「**欧州グリーンディール**」
- 2020年「新EUサーキュラーエコミー行動計画」
- 2020年「EUタクソミー規則」
- 2021年「**欧州気候法 EU Climate Law**」
- 2021年「SFDR, サステナブル金融情報開示規制」
- 2021年「2030年EU生物多様性戦略」
- 2021年「サステナブル経済へのトランジションファイナンス戦略」
- 2023年「CSRD(欧州企業持続可能性報告指令案)」

グリーンかつ安価
で安全なエネ
ルギーの確保

グリーンで循環型
の経済に向けた
産業戦略

エネルギー・資源
効率的な建築及
び改修

より野心的な気候
目標 (2030年、
2050年)



有害物質のない
環境のための汚染
ゼロ目標

生態系回復と
生物多様性の保全

農場から食卓まで

持続可能でスマー
トなモビリティへ
の移行加速化

2050年 温室効果ガス
1990年対比 55% 削減目標法令化

出所：EU各種資料よりBNPパリバ・アセット作成

2050年 ネットゼロ達成必要資金額



€9.2兆/年

1,472兆円/年

McKinseyによると、**2021年から2050年まで**にエネルギーと土地利用の物理資産のネットゼロの移行に、**€275兆 (44,000兆円)**、年間€9.2兆 (1,472兆円) の資金が必要。内年間€4.6兆 (736兆円) は低炭素排出資産、インフラ投資への新規資金が必要



\$9兆/年

1,350兆円/年

Climate Policy Initiativeによると、1.5℃を達成するために、**2025年から2050年までに\$266兆 (40,000兆円)**、2023年から2030年までに毎年\$9兆 (1,350兆円)、2031年から2050年までに毎年\$10兆 (1,500兆円) の資金が必要

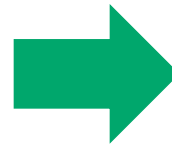
\$4.3兆/年 645兆円/年

Oliver Wyman によると、2030年までに、**年間\$4.3兆 (645兆円)** の資金投資が必要

資金調達
ルートの変化

政府・公的資金

銀行貸し付け



ファンドを通じての
投資家資金

[the-net-zero-transition-executive-summary.pdf\(mckinsey.com\)](#) 2022年1月 [Financing The Transition To A Net-Zero Future \(oliverwyman.com\)](#) 2021年
[Global-Landscape-of-Climate-Finance-2023.pdf \(climatepolicyinitiative.org\)](#) 2023年11月

ネットゼロイニシアティブ：GFANZ (Glasgow Financial Alliance for Net Zero)

74 兆ドル
138 銀行

Net Zero
Banking
Alliance

金融資産総額

64 兆ドル
315 運用会社

Net Zero Asset
Management

運用資産額

8.4 兆ドル
86 オーナー

Net Zero
Asset Owner
Alliance

運用資産額

3.3 兆ドル
56 企業

Paris Aligned
Investment
Initiative

運用資産額

11 企業

Net Zero
Insurance
Alliance

26 企業

Net Zero
Financial Service
Providers
Alliance

10 企業

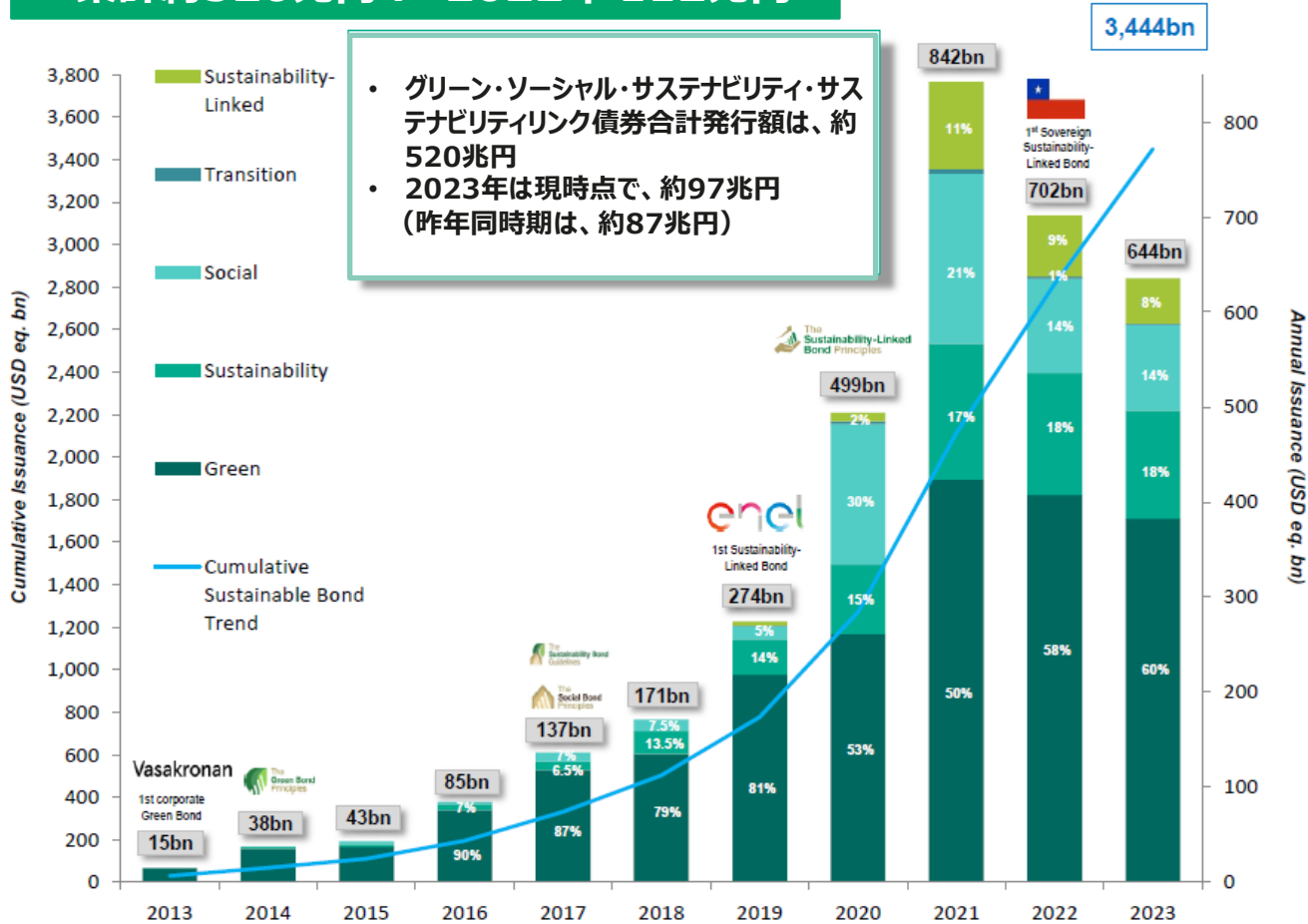
Net Zero
Investment
Consultants
Initiative

ネットゼロを目指す
具体的な行動計画

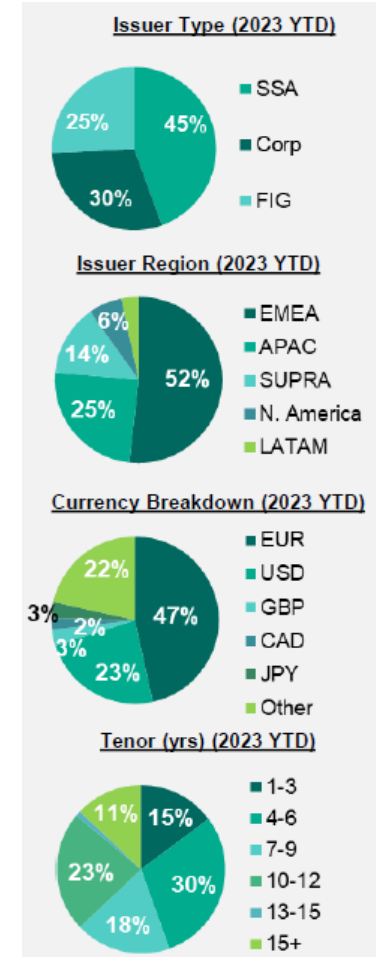
The Glasgow Financial Alliance for Net Zero, 各イニシアティブホームページ, 2023年11月

サステナブル債券発行額 累計 520兆円

累計約520兆円： 2022年 112兆円



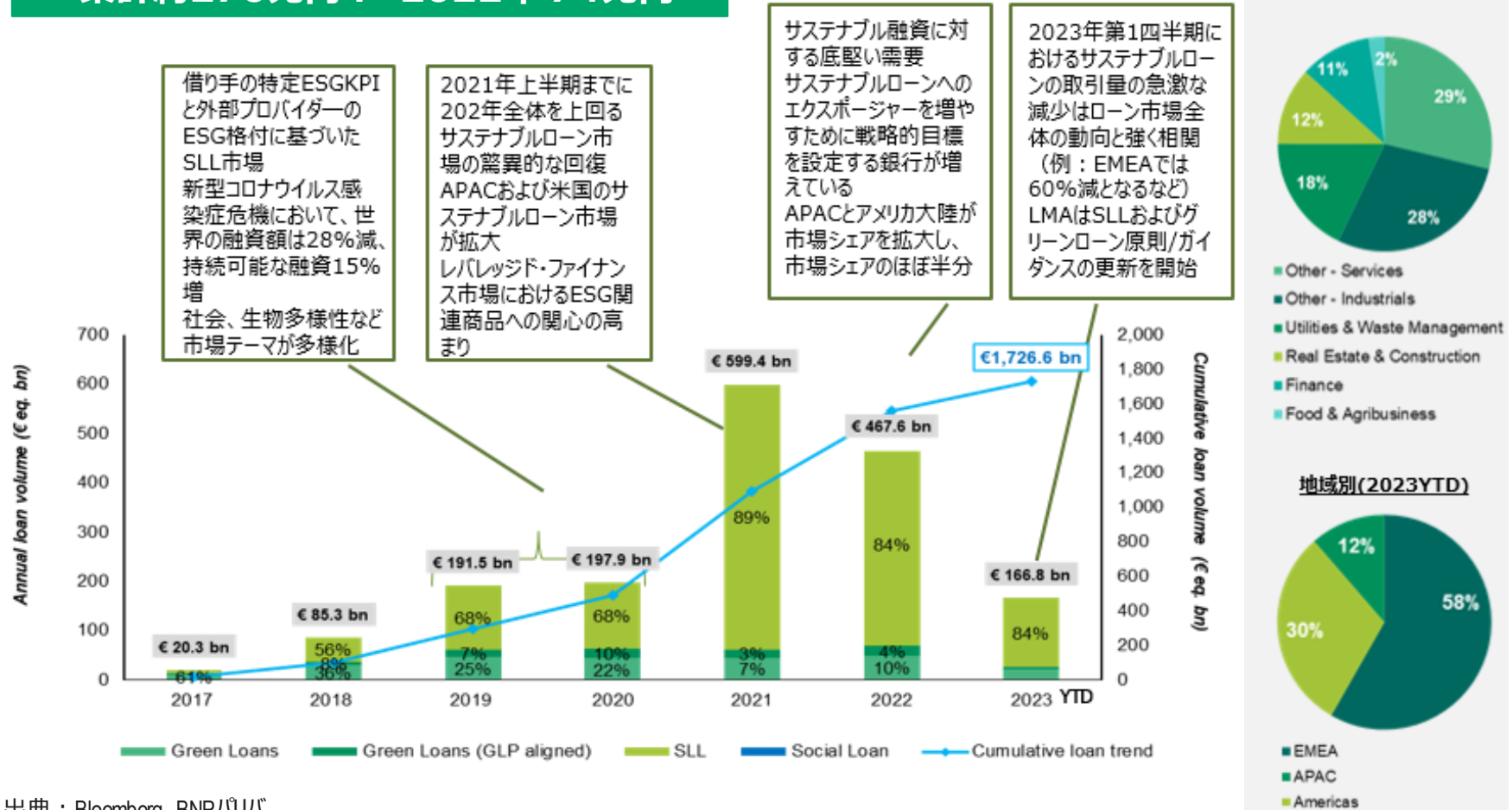
- グリーン・ソーシャル・サステナビリティ・サステナビリティリンク債券合計発行額は、約520兆円
- 2023年は現時点で、約97兆円 (昨年同時期は、約87兆円)



出典：Bloomberg、BNPパリバ、2023年10月13日時点

サステナブルローン額 累計270兆円

累計約270兆円： 2022年 74兆円



出典：Bloomberg、BNPパリバ

サステナブル債券発行額ランキング

(2023年1月から10月13日まで)

EMEA ESG Bonds



Rank	Bookrunner	Deal Value USD eq.(m)	No.	%
1	BNP Paribas	24,531.98	113	7.60
2	Credit Agricole CIB	20,618.47	98	6.39
3	Deutsche Bank	15,721.12	77	4.87
4	BofA Securities	14,938.34	60	4.63
5	HSBC	14,836.44	90	4.60
6	JPMorgan	14,679.82	74	4.55
7	Barclays	13,548.57	66	4.20
8	Citi	13,089.74	72	4.06
9	Societe Generale CIB	11,357.64	57	3.52
10	NatWest Markets	11,312.75	47	3.50

EMEA Sustainability-Linked Bonds



Rank	Bookrunner	Deal Value USD eq.(m)	No.	%
1	BNP Paribas	2,675.08	22	9.99
2	Credit Agricole CIB	1,599.44	15	5.97
3	UniCredit	1,575.87	14	5.89
4	HSBC	1,546.94	14	5.78
5	Societe Generale	1,388.13	13	5.18
6	Intesa Sanpaolo	1,269.20	12	4.74
7	Citi	1,031.28	10	3.85
8	Deutsche Bank	933.39	9	3.49
9	SEB	891.97	8	3.33
10	Goldman Sachs	880.04	8	3.29

Global ESG Bonds



Rank	Bookrunner	Deal Value USD eq.(m)	No.	%
1	BNP Paribas	33,234.68	172	5.57
2	Citi	28,026.37	162	4.70
3	Credit Agricole CIB	27,784.10	147	4.66
4	BofA Securities	27,418.66	133	4.59
5	HSBC	27,267.36	162	4.57
6	JPMorgan	26,193.74	137	4.39
7	Deutsche Bank	21,512.07	105	3.61
8	Barclays	20,086.72	109	3.37
9	Morgan Stanley	19,430.35	152	3.26
10	Nomura	16,911.43	134	2.83

Global Sustainability-Linked Bonds

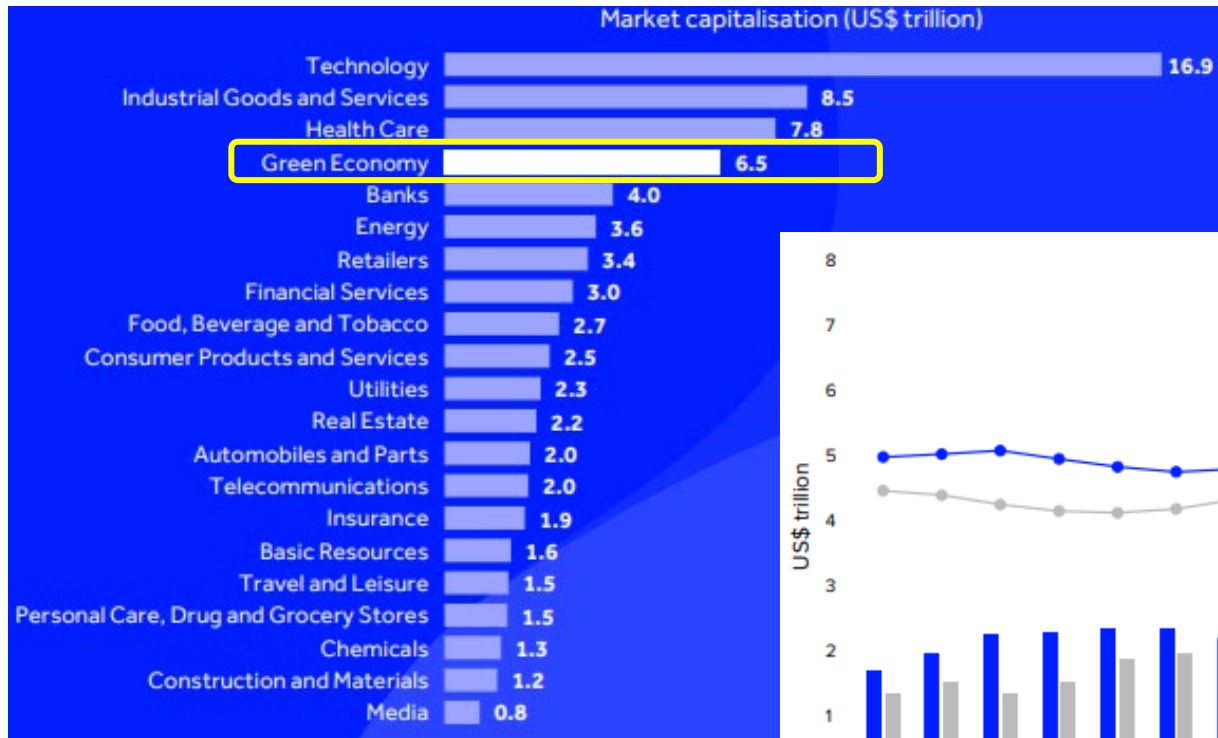


Rank	Bookrunner	Deal Value USD eq.(m)	No.	%
1	BNP Paribas	3,147.04	27	6.83
2	HSBC	2,810.11	22	6.10
3	Credit Agricole CIB	2,454.19	19	5.32
4	Citi	2,166.11	17	4.70
5	Santander	2,055.42	18	4.46
6	Societe Generale	2,000.94	15	4.34
7	JPMorgan	1,999.34	14	4.34
8	BofA Securities	1,899.82	15	4.12
9	Morgan Stanley	1,793.25	20	3.89
10	Mizuho	1,589.86	20	3.45

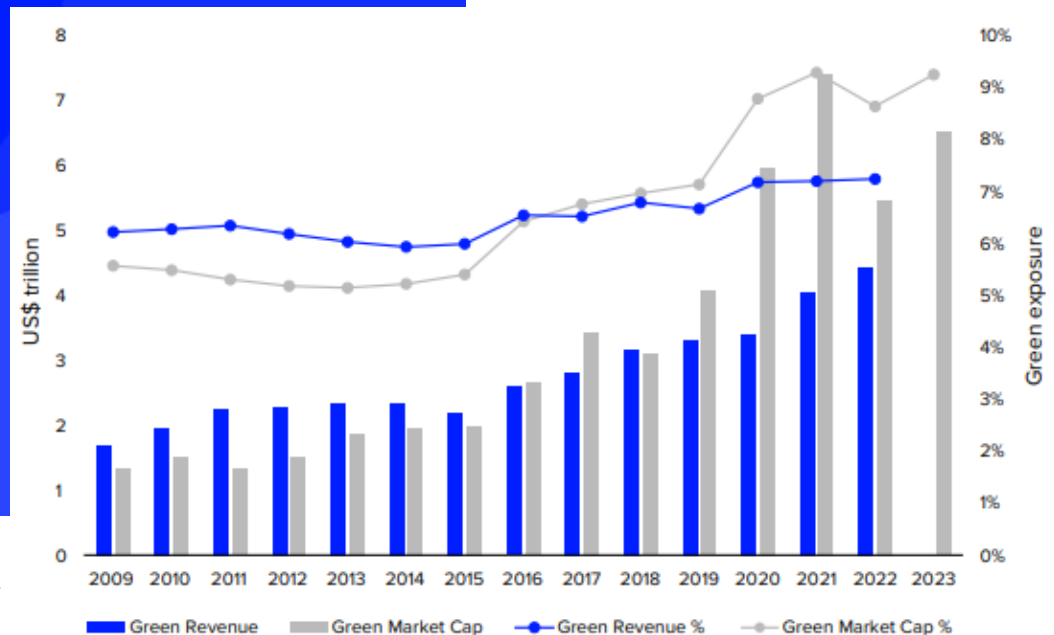
出典：Dealogic-Sustainable & Sustainability-Linked Bonds (Corp/FIG/SSA/ABS/MBS)1stJan 2023-13thOctober 2023, tranche rank eligible and syndicated, League Tables: self-led deals excluded

グリーン株式時価総額 \$6.5兆 (975兆円)

グリーン株式時価総額 業種比較



グリーン売上高*
\$4.4兆 (660兆円)

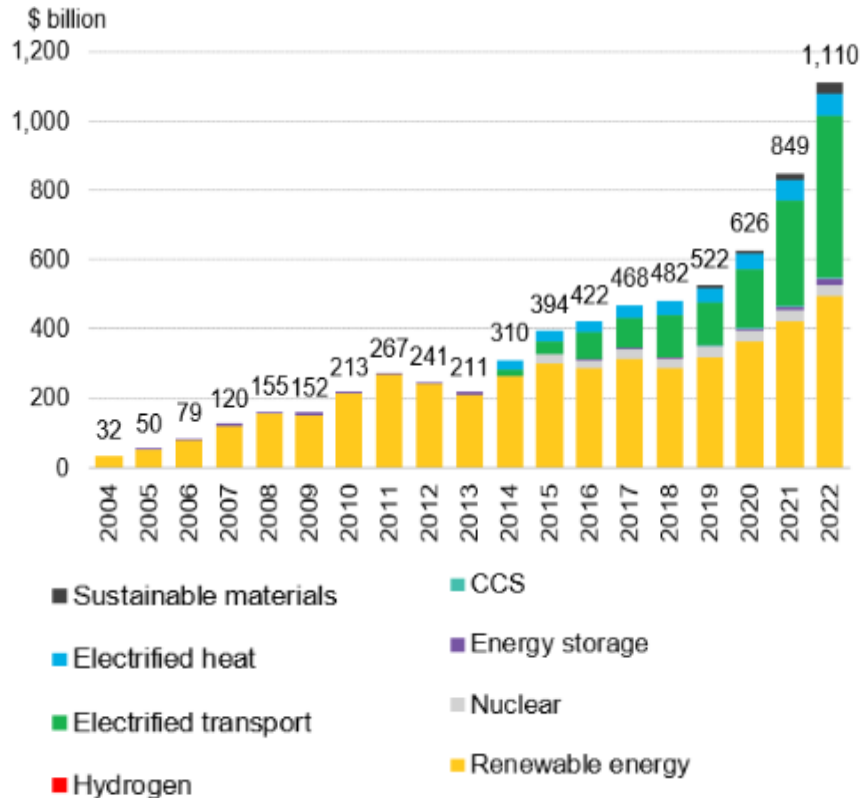


*グリーン利益は、FTSE Russel Green Revenue Classification Systemの10分野133プロジェクトからなる利益を、18,000社のグローバル上場企業を対象に算出

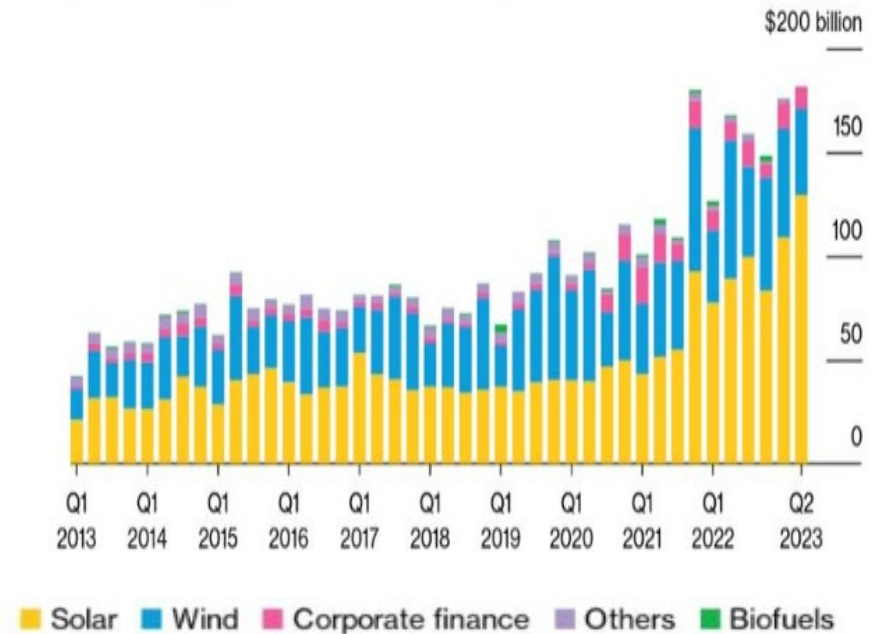
Investing in the green economy 2023 - entering the next phase of growth (Iseg.com) 2023年11月 FTSE-RUSSEL

エネルギー転換関連投資額 150兆円

**エネルギー転換投資 約150兆円
2022年**



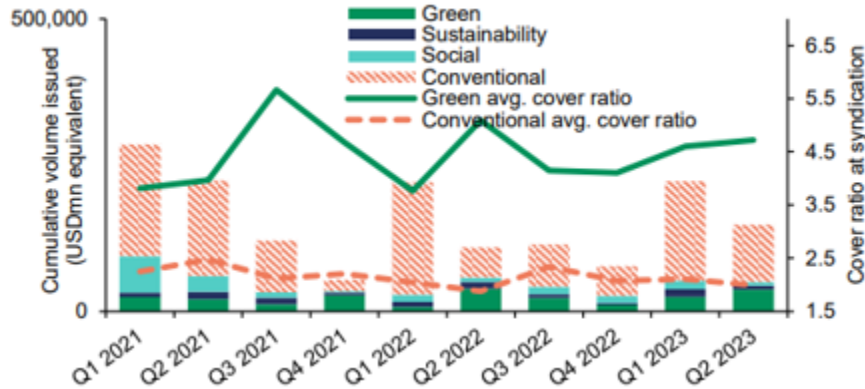
**再生可能エネルギー投資 約50兆円
2023年上半期**



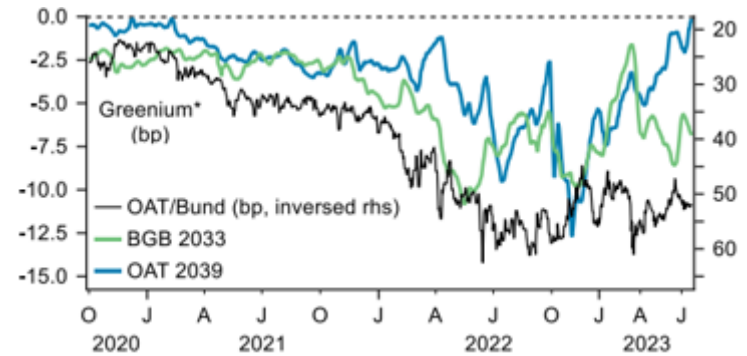
Global Low-Carbon Energy Technology Investment Surges Past \$1 Trillion for the First Time | BloombergNEF (bnef.com) 2023年1月
Renewable Energy Investment Hits Record-Breaking \$358 Billion in 1H 2023 | BloombergNEF (bnef.com) 2023年8月

市場価格：グリーンボンド

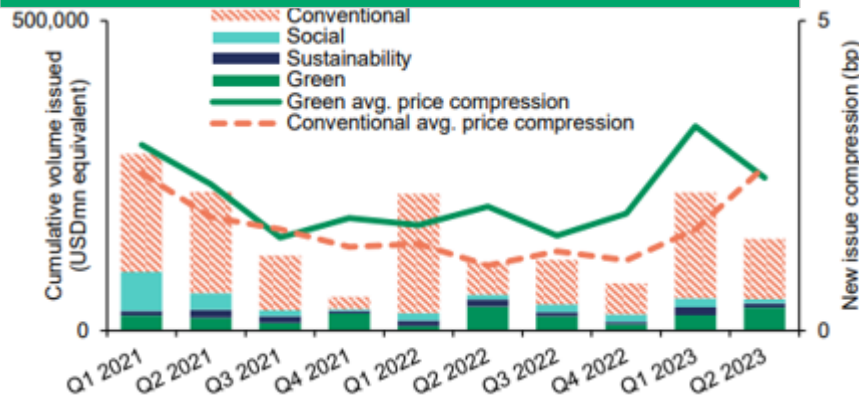
グリーンボンド対伝統的債券カバレッジ比率



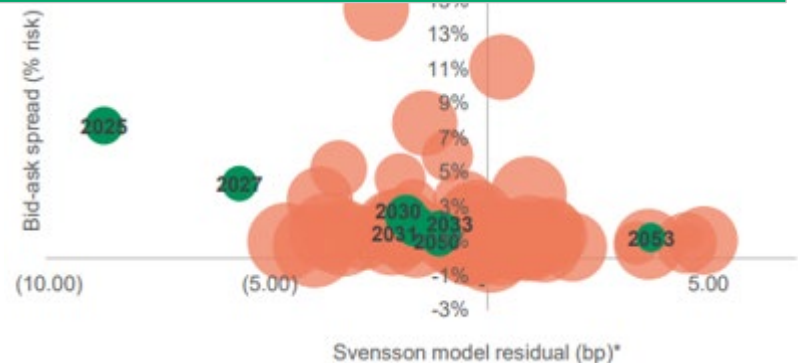
Greenium ドイツ国債・フランス国債



グリーンボンド対伝統的債券価格比較



Greenium 対流動性

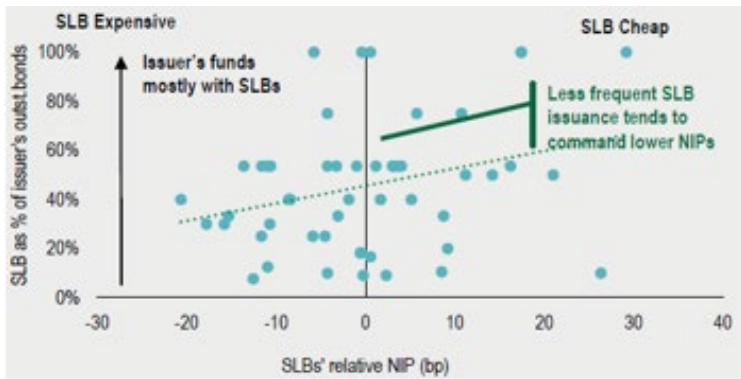


* Model to derive the fitted z-spread curve

出所：BNPパリバ

市場価格：サステナブルリンク債券 (SLB)

SLBの新規発行プレミアム(NIP)比較



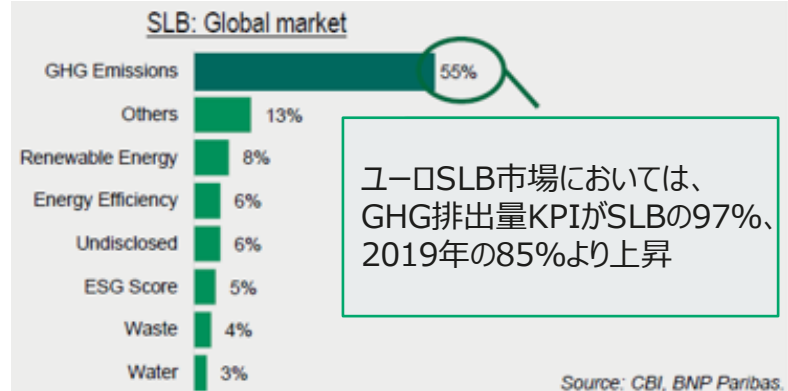
KPIの違いによるSLBスプレッド



SLB、非SLBスプレッド比較



SLB KPI

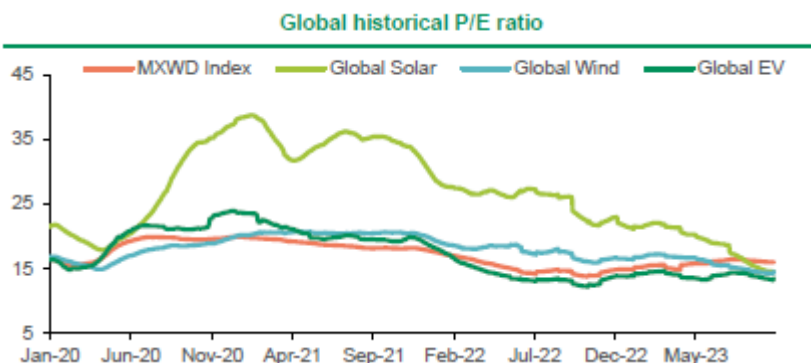


ユーロSLB市場においては、GHG排出量KPIがSLBの97%、2019年の85%より上昇

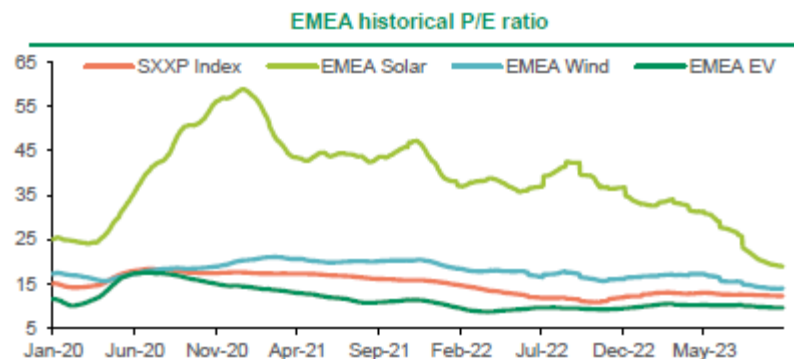
出典：BNPパリバ、Bloomberg

市場価格：再生可能エネルギー、EV関連株式

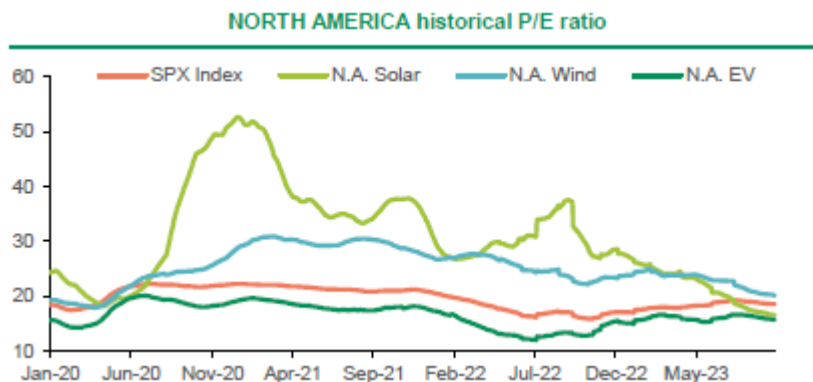
グローバルPER 推移



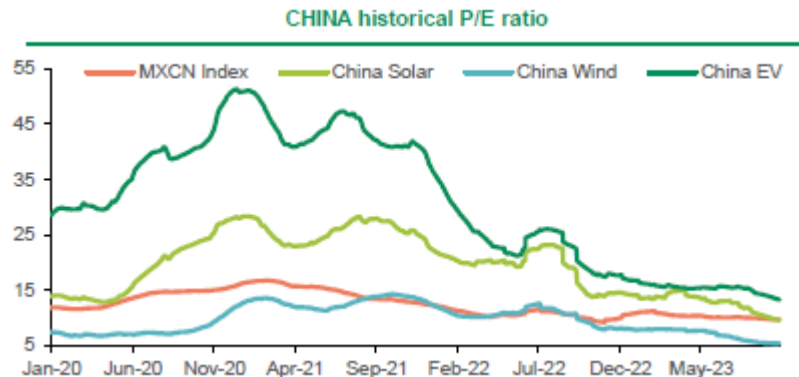
EMEA PER 推移



米国PER 推移



中国PER 推移



出典：BNPパリバ、Bloomberg, 90日移動平均 2020年10月時点

BNPパリバグループ 2025年戦略計画

GROWTH
TECHNOLOGY
SUSTAINABILITYGROWTH
TECHNOLOGY
SUSTAINABILITY

サステナブルファイナンス戦略 2025年目標

サステナブル
ファイナンス€350 Billion¹
(約56兆円)

責任投資

€300 Billion²
(約48兆円)お客様の低炭素
経済移行支援€200 Billion
(約32兆円)陸上・海上生物多
様性プロジェクトに
貢献する企業への
ファイナンス€4 Billion³
(約6,400億円)サステナブルファイナンス戦略
優先5テーマ

カーボン中立への移行

サステナブルファイナンス
責任投資

自然資本・生物多様性

サーキュラーエコノミー

社会包摂

出典：BNPパリバグループ

¹ Cumulative amount of sustainable loans for 2022-2025 related to environmental and social issues, originated by BNP Paribas and granted to its customers ² Cumulative amount of all types of sustainable bonds 2022-2025 (total amount divided by the number of bookrunners). ³ Loans and bonds contributing to the protection of terrestrial and marine biodiversity.

BNPパリバ 気候対応戦略



Jean-Laurent Bonnafé, Director and CEO of BNP Paribas

BNPパリバは10年以上にわたって気候戦略に取り組んできました。

当グループはこの10年間で、化石燃料向けに90%、低炭素向け10%のファイナンスから、**低炭素向け60%、化石燃料向け40%のファイナンスに変化してきました。2030年までに、低炭素向けファイナンスは80%を占めるようになります。** 2023年に決定したことは、強力な推進を示しています。当社には自分たちの目的を達成するためのツールがあり、経済全体としての変革への途方もない努力をし続けます。



2024年

既に発表した業種（石油・ガス、発電、自動車、鉄鋼、アルミニウム、セメント）についての現状及び温室効果ガス排出を制限する各業種のローンポートフォリオの新たな目標を発表



2025年

- BNPパリバの目標**
- 発電への**ファイナンスの3分の2は再生可能エネルギー**
 - 自動車業界ファイナンスの**25%はEV**
 - 石油・ガス探査及び生産のファイナンスを2020年比-12% (石油は-25%)
 - 環境・社会目的のグリーンボンド・ローン：**€3,500億**



2030年

- BNPパリバの目標**
- **OECD・EU国からの石炭離脱**
 - 低炭素エネルギーへのファイナンス：**€400億**
 - 石油探索生産向けファイナンス2020年9月比 **-80%**, ガス**-30%**
 - 鉄鋼向けファイナンス**25%**, セメント**-10%** (2022年比) アルミニウム**-24%** (2021年比)



2040年

当グループとして、**石炭向けファイナンスは全て撤退。**
他の業種向けのファイナンスについて中間目標は今後数年で設定

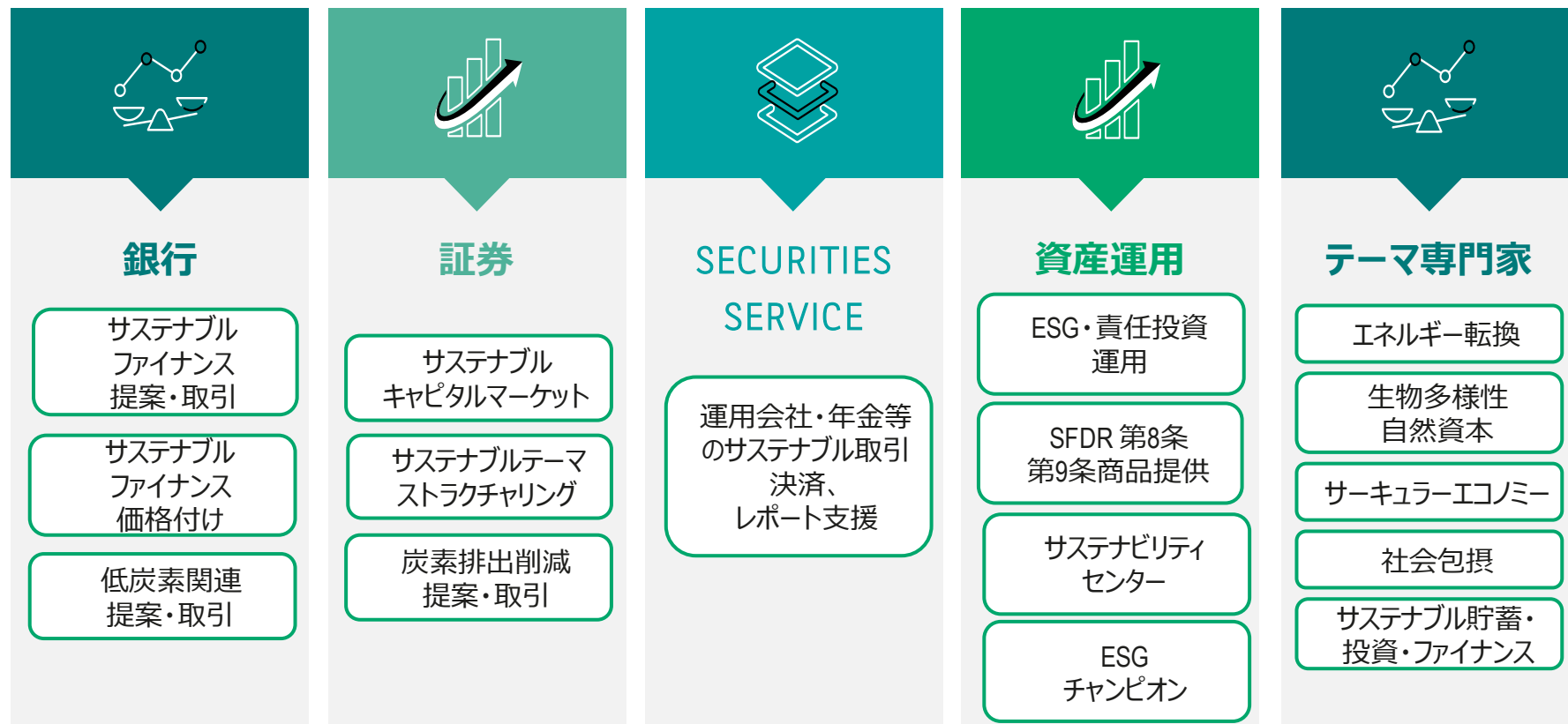


2050年

人間の活動が温室効果ガスを発生させず、気候変動を制限できる、カーボン中立を達成

出典：BNPパリバ 2023年

BNPパリバグループ サステナブルファイナンス エコシステム

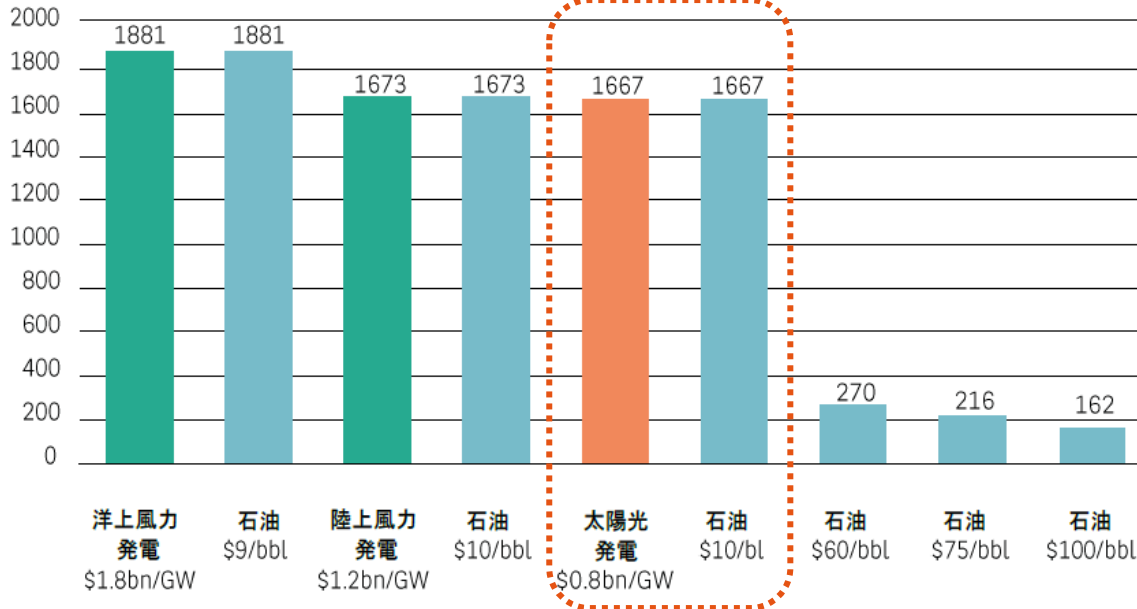


出典：BNPパリバ

EROCI : 投下資本に対する回収エネルギー率

投下資本に対する回収エネルギー率 (ネットEROCI) - 再生可能エネルギー+EV vs 石油+ガソリン自動車 -

(単位 : TWh)



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

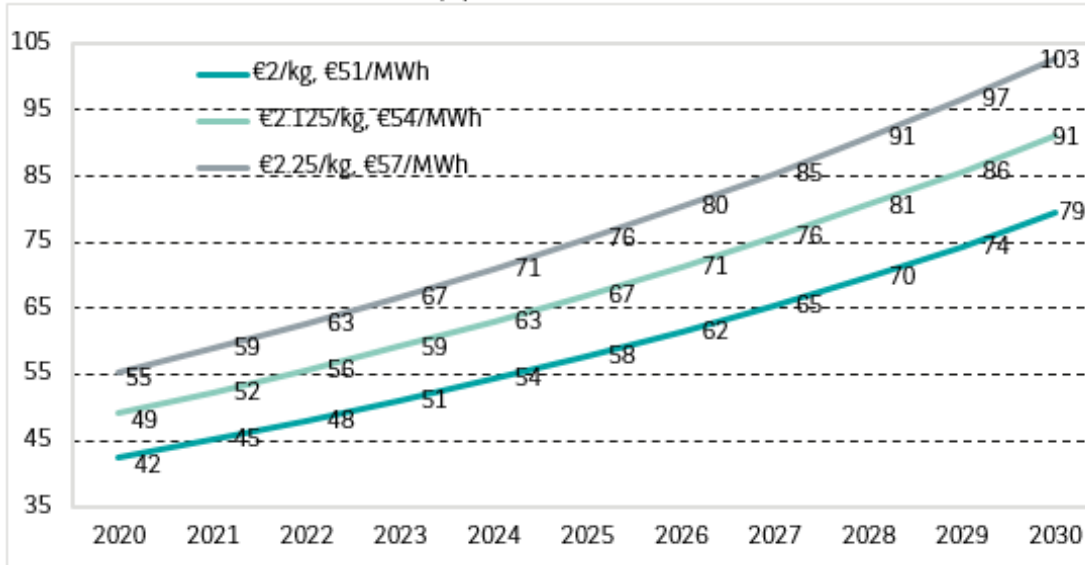
The asset manager
for a changing
world

1. ガソリンが2018年に生産した有用なエネルギー総量を推計
2. ガソリンにかかる合計費用のうち精製やマーケティング、輸送コストなどその他費用を算出
3. 再生可能エネルギー新規プロジェクトにおけるEROCIを算出
4. それぞれの1,000億ドルあたりの支出に対するネット・エネルギー・フローを算出
5. 最後に今後25年間にわたって有用なエネルギー・フローを作り出すための必要な総支出を計算し、比較

出典 : BNPパリバ・アセットマネジメント 2019年

EU-ETS 適正価格推計

EU-ETS価格 フォワード曲線予想

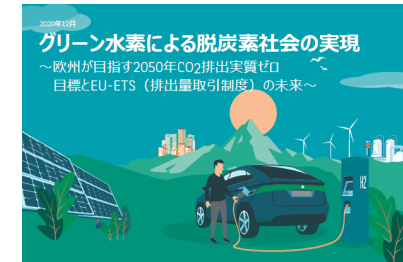


- 炭素価格の割引率：政策的買い手と投資家にとっての2つの価格の裁定が反映された資本コスト
- EU-ETSフェアバリュー：€49（2020年時点）
参加者の資本コスト：4%から10%
割引率：6%

出典：BNPパリバ・アセットマネジメント 2020年

前提

- 2030年のグリーン水素予想製造コスト：
€2/kg～€2.25/kg
- グレー水素製造の為のガス投入コスト：
€15/MWh



要約
1.1 燃料転換プラットフォーム
EU-ETS: 燃料転換プラットフォームの導入は、CO2排出削減に寄与する。2020年12月、EUは、燃料転換プラットフォームの導入を奨励する。これは、2020年12月のEU-ETSの導入と一致する。2020年12月のEU-ETSの導入は、燃料転換プラットフォームの導入を奨励する。これは、2020年12月のEU-ETSの導入と一致する。2020年12月のEU-ETSの導入は、燃料転換プラットフォームの導入を奨励する。これは、2020年12月のEU-ETSの導入と一致する。



The asset manager for a changing world

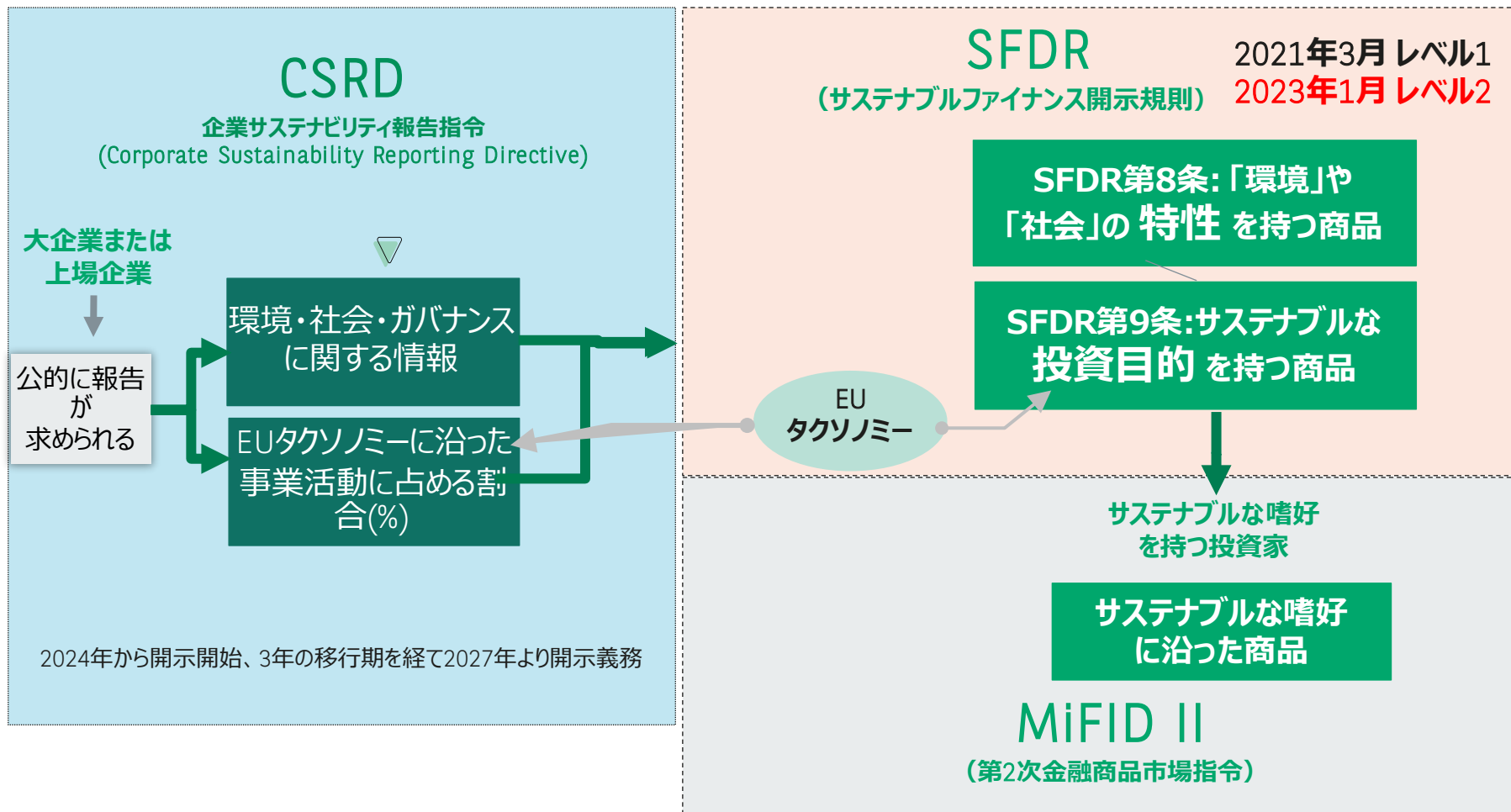
適正価格算出

流動性提供

2 欧洲责任投资·ESG投资規制動向



欧州サステナブルファイナンス規制構造



EU各種資料よりBNPパリバ・アセット作成

SFDR 「サステナビリティ選好」3要件

サステナブル投資 各社で異なる

BNPパリバ・アセットマネジメントの
サステナブル投資 定義



採用 要件

EUタクソミー
SDGS
サステナブル債券
ネットゼロ達成可能性
(1.5℃)
環境・社会ベストパ
フォーマー



除外 要件

DNSH* クリーニング
(**PASI/PAI**等)
ガバナンス スクリーニング

* Do Not
Significantly Harm

PASI/PAI (主な悪影響)

EU指定のサステナビリティに対する**主要な悪影響 18指標** Principal Adverse (Sustainability) Impact (PASI/PAI)

気候変動およびその他環境に関する指標

二酸化炭素 排出量	1	GHG 排出量 (スコープ1、2、3)
	2	カーボン・フットプリント
	3	企業のGHG排出原単位
	4	企業活動の化石燃料セクターへのエクスポージャー
	5	再生可能ではないエネルギー消費比率
	6	エネルギー消費量/気候変動セクターへのインパクト
生物多様性	7	生物多様性へのマイナスの影響
水	8	水への排出量
廃棄物	9	危険廃棄物の比率

社会、雇用、人権、汚職、賄賂に関する指標

社会・雇用	10	国連のグローバル・コンパクト原則OECDガイドラインの違反
	11	国連のグローバル・コンパクト原則およびOECDガイドラインへの遵守
	12	性別による収入の差
	13	取締役の性別の分散
	14	問題視されるような武器 (対人地雷、クラスター爆弾、化学兵器、生物兵器など) へのエクスポージャー

EUタクソミー準拠

EUタクソミー 6項目
EU Taxonomy



気候変動の緩和



気候変動への適応



水や海洋資源の持続可能な使用および保全



循環経済への移行、
廃棄物削減及びリサイクル



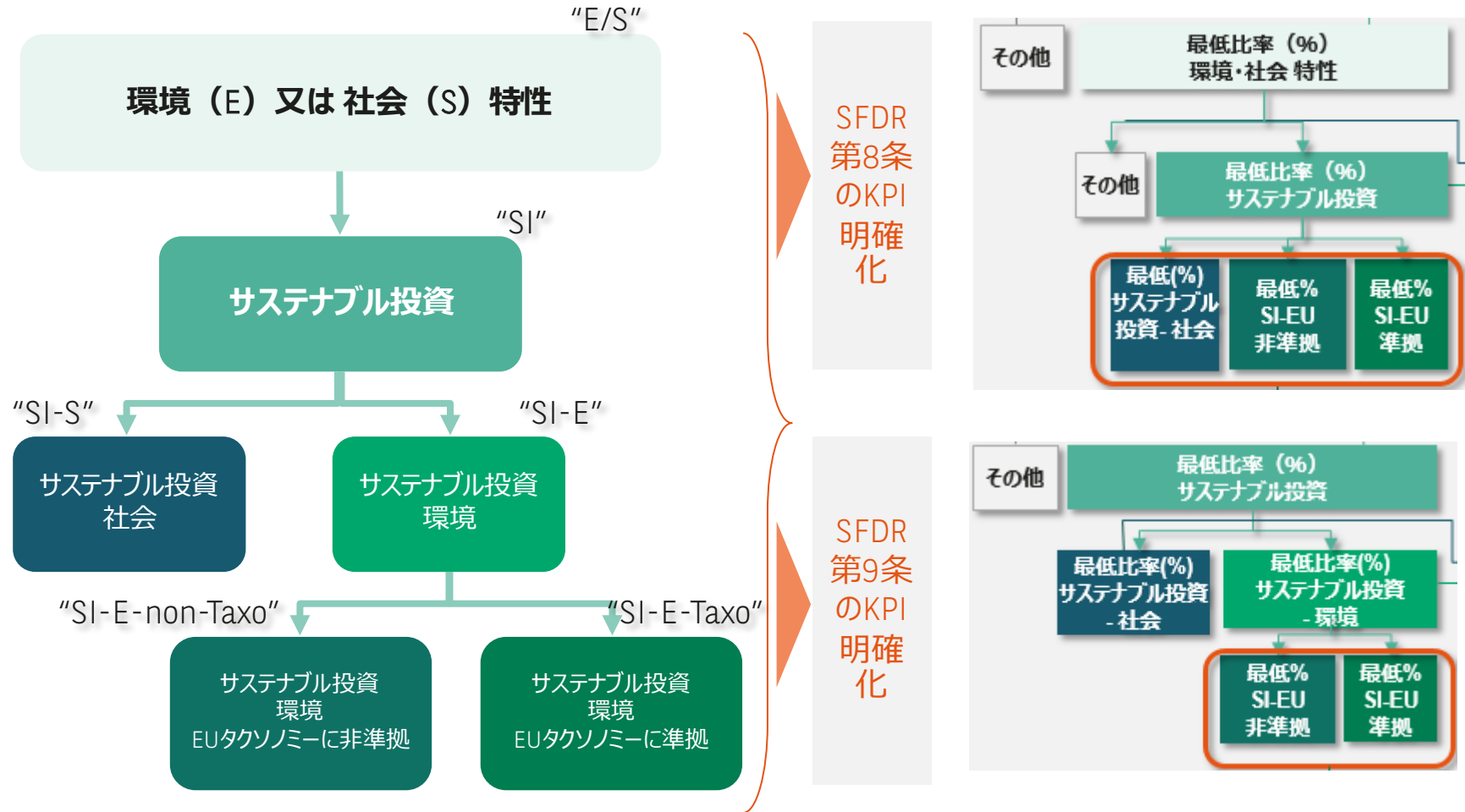
汚染防止および
汚染管理



生物多様性と
エコシステムの保全

出所：EU各種資料、BNPパリバ・アセットマネジメント

BNPパリバアセット SFDRレベル2：投資先発行体とポートフォリオレベル



EUにおける気候変動関連情報開示の方向性

CSRとTCFD 項目比較

		CSR	TCFD
1	気候変動リスク及び機会	○	○
2	リスクマネジメント・復活力	○	○
3	気候変動目標及び進捗状況	○	○
4	ガバナンス	○	○
5	スコープ 1・2・3	○	○
6	1.5°C 移行対応	○	×
7	ステークホルダー考慮	○	×
8	ダブル・マテリアリティ	○	×
9	インパクト軽減行動	○	×
10	詳細なサステナビリティ ビジネスモデル・戦略	○	×
11	無形資産情報 (人的・社会資本等)	○	×

EUにおける気候変動関連開示改善案

ビジネス
戦略

- サステナビリティ関連案件の**ビジネスモデルや戦略**の、異なる**気候変動シナリオにおける耐久性**開示強化
- 気候変動の影響を**長期的持続可能な価値創造**に変換させていく経路
- **サステナブル戦略実現のための、資源配分、投資計画、研究開発計画、社員教育**開示

リスク
管理

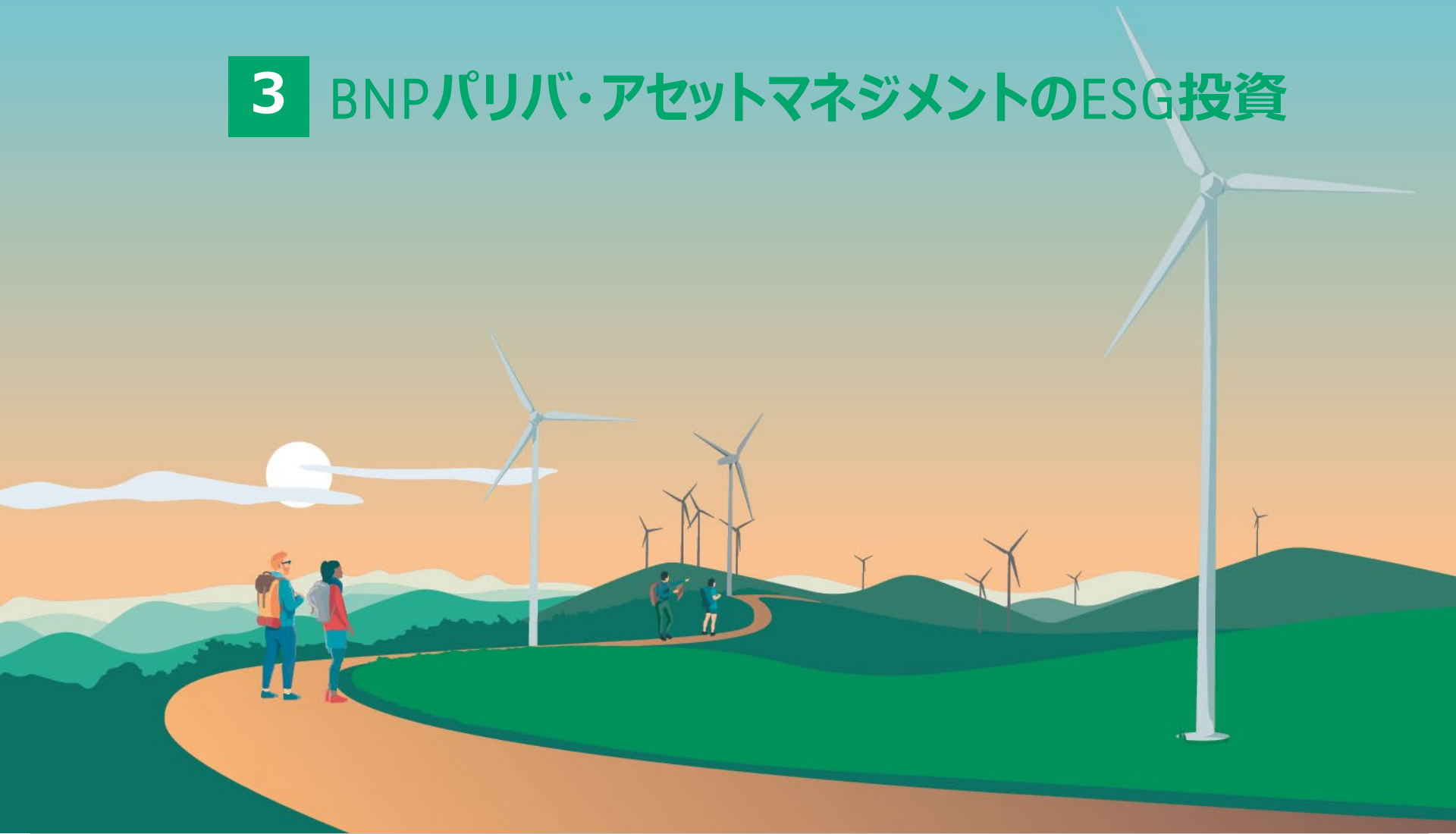
- 温室効果ガス削減の進捗状況**科学的定量開示**増強
- 気候変動ポリシーと、サステナビリティ案件との**一貫性**
- 気候変動の**ポジティブ・ネガティブインパクト**の明確化、**軽減戦略及び行動計画**
- サステナビリティリスクへの依存度、具体的監督管理方法

ガバ
ナ
ン
ス

- **取締役や経営陣における気候変動の責任所在**
- 監査人による**年次監査**

出所：「TCFD: The common thread across climate regulation」, Sustain Life, Board, 「How Does the CSRD Compare to the TCFD?」 manifestclimate 「Climate and TCFD disclosure briefing: The state of EU environmental disclosure」 Climate Disclosure Standard

3 BNPパリバ・アセットマネジメントのESG投資



ESG投資の現状と今後の動向

より多くの 規制・監視

SFDR, MiFiD II
CSRD, EUタクソミー



誰もが ネットゼロへ

COP26
NZBA, NZAOA
NZIA, NZAM



スチュワードシップ活 動に注目



インパクト測定は 将来の課題

インパクト投資の運用原則
Operating Principles for
Impact Management



資産運用会社に求めら れる「有言実行」

サステナビリティ企業文化



BNPパリバ・アセットマネジメント：「ESG懐疑論に答える5つの方法」Jane Ambachtsheer, 2022年8月

サステナブル投資アプローチ：6つの柱



1 ESG統合

リスク調整後リターンの改善



2 スチュワードシップ (議決権行使、エンゲージメント)

企業価値の保全、健全な規制形成に貢献、社会面と環境面で良い成果を促進



3 責任ある企業行動 (RBC)、セクターベースでの投資対象除外

レピュテーション、規制、座礁資産に関するリスクを回避



4 フォワード・ルッキング の観点:「3つのE」*

投資における意思決定の強化、長期のパフォーマンスを確保



5 サステナビリティへの投資ソリューション

より持続可能な投資機会に適切に配分



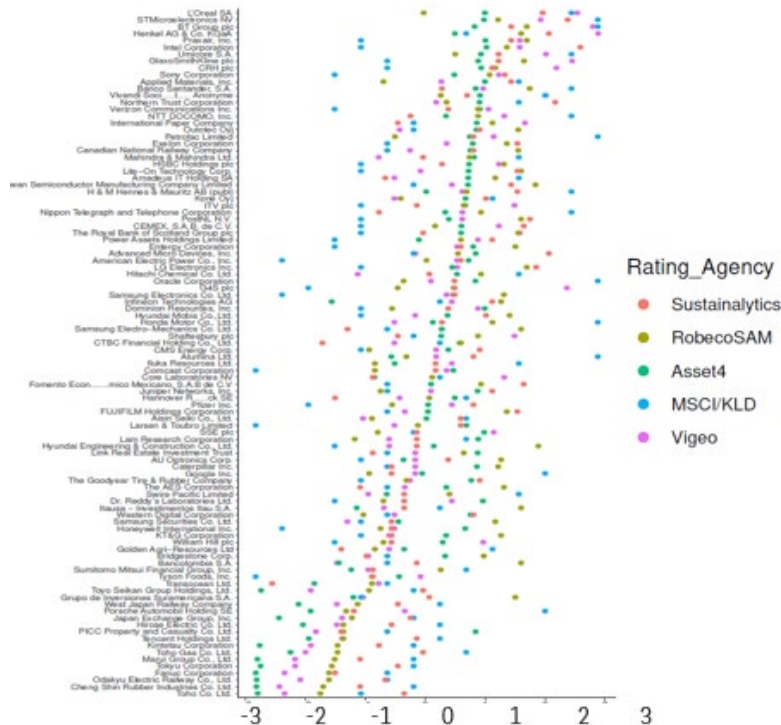
6 企業の社会的責任 (CSR) 有言実行

当社の企業慣行や開示は、投資先企業に期待する水準と同等もしくはそれを上回るものでなければならない

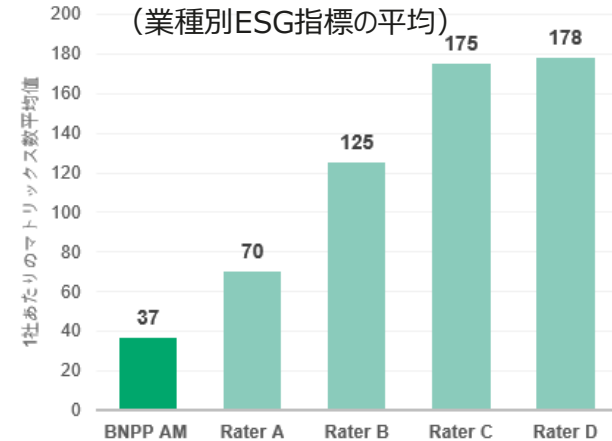
出所：BNPパリバ・アセットマネジメント *「エネルギー転換」「環境の持続可能性」「平等と包摂的な成長」

1つ目の柱：ESGスコア - 外部ESGスコアのばらつき

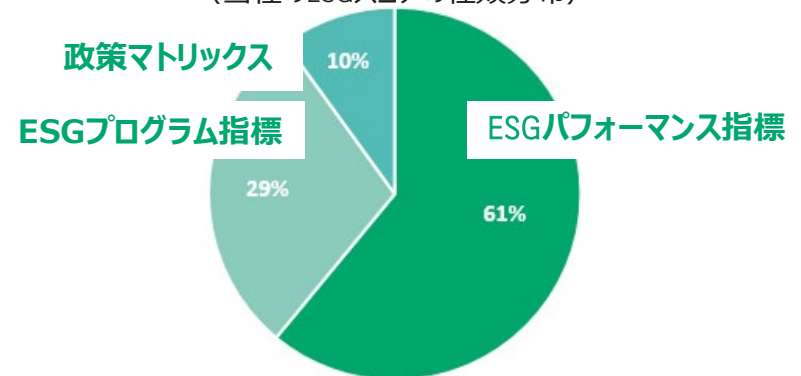
ESGスコアは、ESG格付け会社により大幅に異なる
(全世界大手企業100社の正規化されたESGスコア)



外部のESGスコア提供会社と比較して、
当社はフォーカスしたESG指標を使用
(業種別ESG指標の平均)



当社はパフォーマンス指標を重要視
(当社のESGスコアの種類の分布)



出典：BNPパリバアセット、MIT Sloan School of Management,
「Aggregate Confusion: The Divergence of ESG Ratings」2019年8月

1つ目の柱： ESGスコア - 11のESGテーマ

各業種、平均37のマトリックスを使用

マトリックス

業種間共通と業種特有のマトリックスの組み合わせを使用

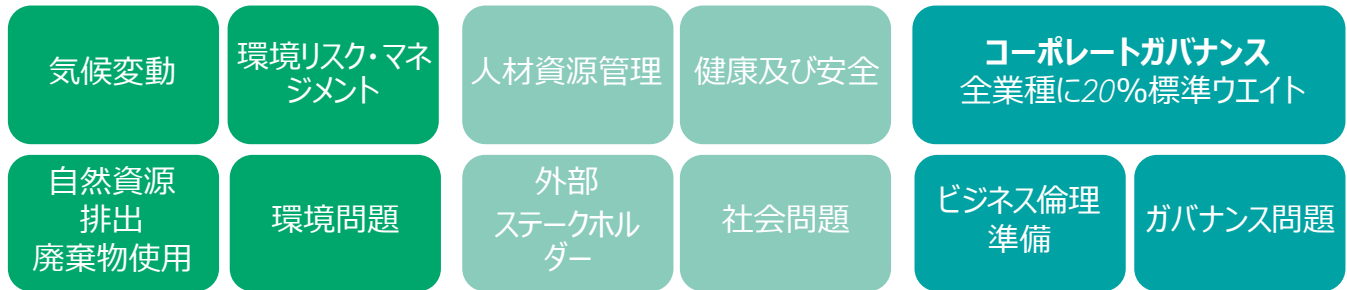
温室効果ガス排出の絶対マトリックスを含めた平均10の環境マトリックスを各業種に使用

各業種平均11のソーシャル・マトリックスを使用

各業種平均15のガバナンス・マトリックスを使用

テーマ

各マトリックスからの寄与は11のサステナビリティ・テーマに分類される



E・S・Gへの寄与

各テーマの寄与は、E, S, Gのそれぞれに分類

最終ESGスコア

0から100に数値化

E

S

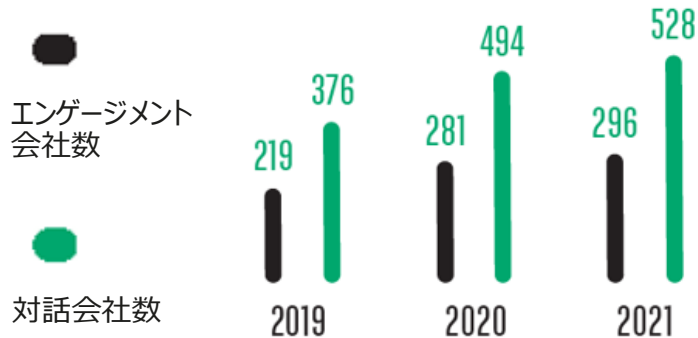
G

当社 ESG スコア

出所：BNPパリバ・アセットマネジメント

2つ目の柱：エンゲージメント

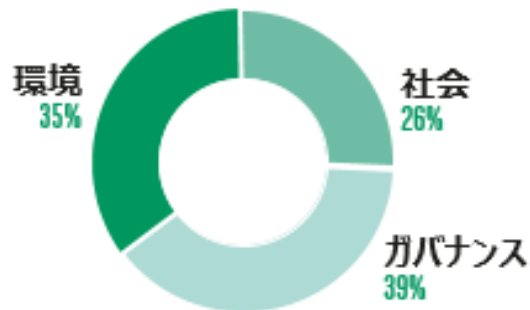
過去3年企業向けエンゲージメント



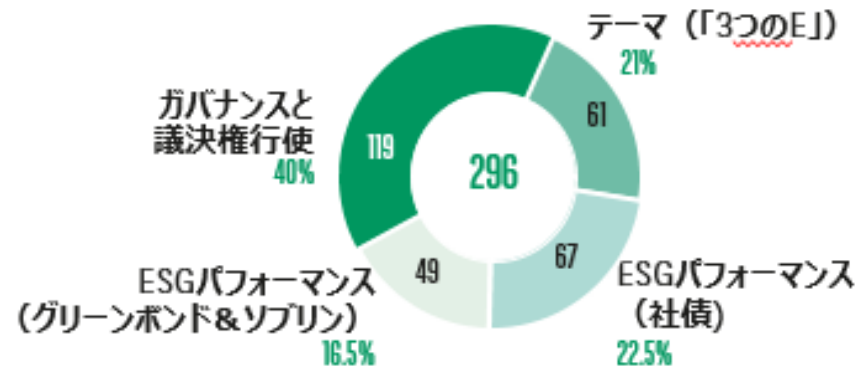
会社提案による決議事項への棄権・反対

	投票総数	賛成	反対・棄権	反対比率
役員報酬	3,289	1,316	1,973	60%
財務運営	2,671	1,632	1,039	39%
取締役の選任	14,348	9,091	5,257	37%
他の決議事項*	7,142	6,265	877	12%
合計	27,450	18,304	9,146	33%

企業とのESGに関するエンゲージメント比率



2021年に行った各タイプのエンゲージメント比率

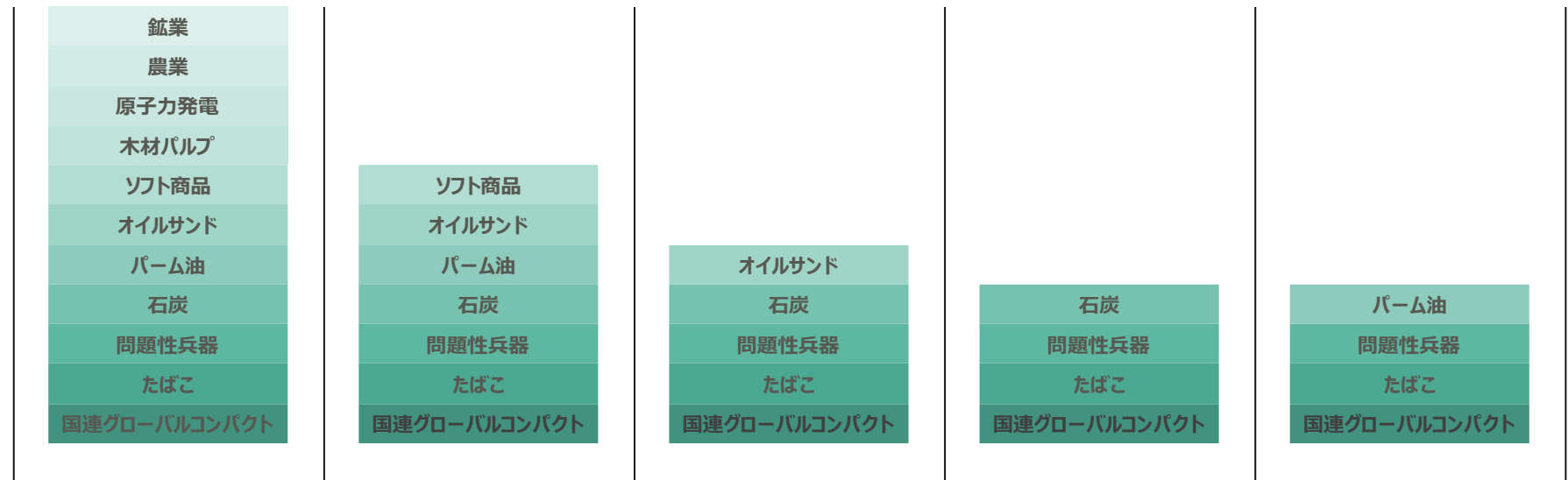


出所：2021年BNPパリバ・アセットマネジメントサステナビリティレポート

3つ目の柱：責任ある企業としての行動指針比較

責任ある企業としての行動指針（各社の取り組み）

BNPパリバ・アセットマネジメント	仏保険会社系運用会社	グローバル運用会社	欧州運用会社A	欧州運用会社B
<ul style="list-style-type: none"> 全てのオープン・エンド・ファンド 新規運用戦略はデフォルト 既存の戦略にも各顧客と交渉 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのオープン・エンド・ファンド 機関投資家顧客はオプション 	<ul style="list-style-type: none"> 欧州ベースの運用商品 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのアクティブ商品 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのオープン・エンド・ファンド




Source: BNPP AM research, March 2020

BNPパリバ・アセットマネジメントの特徴

- i. **エンゲージメントが意味をなさないセクター**（石炭、たばこ、非人道的兵器、アスベスト）の設定とそのシステムティックな排除方針
- ii. サステナブルな方法が存在し、**エンゲージメントを通じて優良企業については支援できるセクター**（パーム油、パルプ、原子力、鉱業、オイル/タールサンド、農業）

出所：BNPパリバ・アセットマネジメント

4つ目の柱： フォワードルッキングの「3つのE」とSDGs




**エネルギーの転換
(Energy)**

目的: 低炭素エネルギーへの転換
に積極的に貢献する



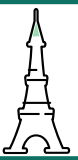
**環境の持続可能性
(Environmental)**

目的: 当社の投資による環境への
影響を改善する



**平等と包摂的な成長
(Equality)**

目的: 社会と生態系の長期的な安定と
回復を確保するため、より平等で
持続可能な価値の分配を推進する





Paris Agreement

6 CLEAN WATER AND SANITATION	7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	1 NO POVERTY	5 GENDER EQUALITY
7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE	12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION	8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH	10 REDUCED INEQUALITIES
11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	13 CLIMATE ACTION	13 CLIMATE ACTION	14 LIFE BELOW WATER	
15 LIFE ON LAND				

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



BNPパリバ・アセットマネジメント Trademark, copyright, and other intellectual property rights are and remain the property of their respective owners.

BNPパリバ・アセットのネット：ゼロロードマップ

 <p>投資</p>	<ol style="list-style-type: none"> 投資先企業のカーボンフットプリント削減（スコープ1+2） <ul style="list-style-type: none"> > 2025年までに30% > 2030年までに50%（2019年ベースライン比） ネットゼロに沿った投資 <ul style="list-style-type: none"> > 2030年までに60%をネットゼロを「達成中」もしくは「沿った」、「沿っている」投資に > 2040年までに100%をネットゼロに「沿った」投資に 石炭からの脱却 <p>EUおよびOECD諸国では2030年までに、その他の国では2040年までに石炭から脱却</p> 気候ソリューションに投資 気候や環境関連テーマのソリューションへの投資を拡大 お客様と連携 ネットゼロ投資への移行についてお客様と連携
 <p>スチュワードシップ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 気候変動の取り組みへの議決権行使 <ul style="list-style-type: none"> > 企業にカーボンフットプリントを報告するように伝え、世界的に温室効果ガス排出の大きい企業・国が2050年かそれ以前にネットゼロを達成する目標設定を促す > 意味のある株主提案に賛成票を投じ、気候変動に対する企業の取り組みを加速するため、当社からの独自の提案を行う

BNPパリバ・アセット：「ネットゼロ・ロードマップ」2022年11月

BNPパリバ・アセットのネット：ゼロロードマップ（2）

	<p>スチュワードシップ</p>	<p>7. ネットゼロに関するエンゲージメント 投資先企業が全て2050年かそれ以前に排出量ネットゼロを達成できるようにエンゲージメント戦略を実行</p> <p>8. 「ネットゼロを2050年までに達成」に沿った気候政策を提唱 ネットゼロ政策を提唱する積極的な役割を演じ、私たちの直接的・間接的なロビー活動が2050年かそれ以前にグローバルで排出量ネットゼロ達成を確実にサポートするよう努める</p>
	<p>オペレーション</p>	<p>9. 当社の業務運営からのフットプリントの削減 業務運営からの排出量を引き続きオフセットし、エネルギー効率を改善するとともに、より多くのグリーンエネルギーを使用します。</p> <p>10. 開示の進捗状況を報告 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言に沿った開示を行う</p>

当社の
カーボンフットプリント
の算定方法

$$\sum_i \frac{W_{Ptf,i} \times \left(\frac{CO_2e_i}{Enterprise\ Value_i} \right)}{100}$$

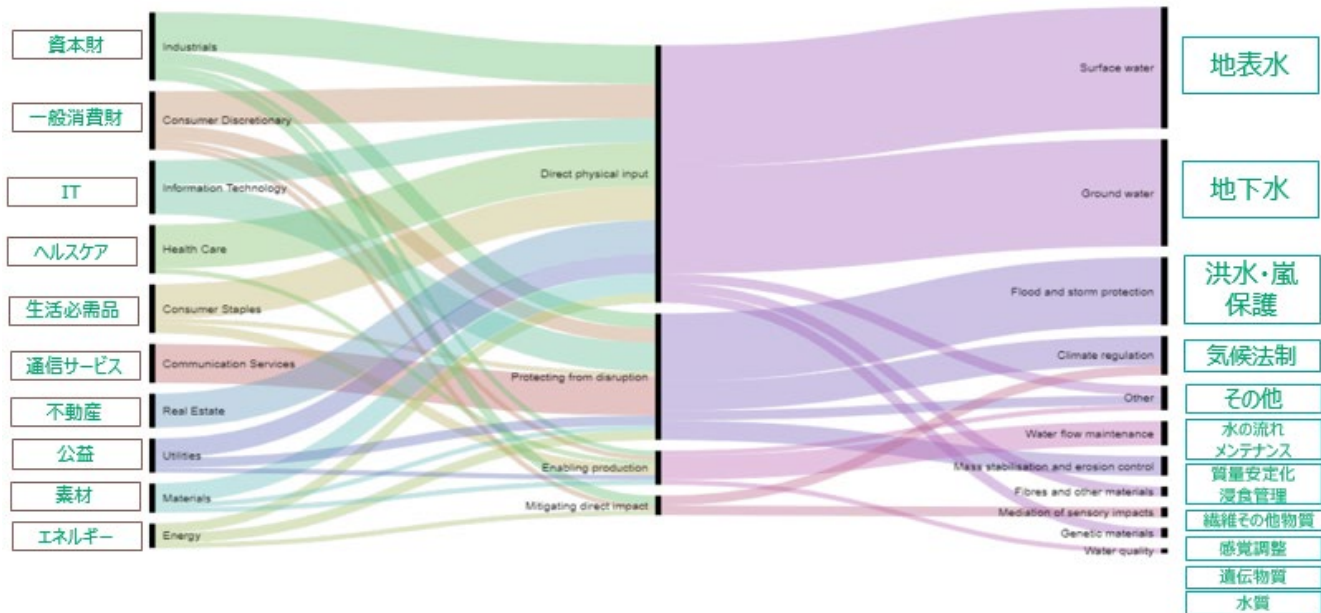
W_{Ptf,i}： 企業Iがポートフォリオに占める比重
 CO₂e_i： 企業Iがスコープ1と2の合計で排出をCO₂換算トンで表示した数値
 企業価値： 年度末の株式時価総額、負債の簿価合計

BNPパリバ・アセット：「ネットゼロ・ロードマップ」2022年11月

生物多様性のフットプリント：BNPパリバアセット 投資ポートフォリオ ①

BNPパリバ・アセットマネジメントの生態系サービスへの依存度

自然資本ファイナンス・アライアンス（NCFA）のENCOREツールを活用し、上場株式・債券で運用している資産全体について、世界産業分類基準（GICS）で分け、投資先企業の生態系サービスに対する直接的依存度を把握。ENCOREは間接的依存度を含めていないため、金融機関は除外



BNPパリバ・アセットマネジメント、出所：BNPパリバ・アセットマネジメント、「サステナブルへの回帰：生物多様性のロードマップ」ENCORE、予備的評価。BNPパリバ・アセットマネジメントの現行企業投資（株式、債券）の部分的見解 GICSセクター別。金融セクターは除外。

生物多様性フットプリント：BNPパリバアセット 投資ポートフォリオ ②

生物多様性指標



生物多様性フットプリント絶対値
-600万KM²MSA (当社の保有比率考慮無)

$$A = \sum_{i=1}^n CBF \text{ Value}_i \quad i: \text{発行体企業}, n: \text{企業数}$$

CBF Value: 発行体企業の生物多様性フットプリント-負の影響
(土地利用変化、大気汚染、水質汚染、気候変動)



生物多様性フットプリント絶対値
-8,000KM²MSA
(当社の保有比率考慮有)

$$B = \sum_{i=1}^n AUM_i \times \frac{CBF \text{ Value}_i}{Enterprise \text{ Value}_i}$$

AUM j: 当社が発行体企業に投資した額
Enterprise Value_i: 企業iの時価総額+総債務



生物多様性フットプリント絶対値
-6ヘクタール (投資額
100万ユーロ当たり)

$$C = \sum_{i=1}^n \frac{AUM_i}{\sum_{i=1}^n AUM_i} \times \frac{CBF \text{ Value}_i}{Enterprise \text{ Value}_i}$$



投資先企業の平均生物多様性強度 (投下資本当たり)
(平均生物種豊富度MSAの
投下資本当たりの喪失
KM²MSA)

$$D = \sum_{i=1}^n \frac{AUM_i}{\sum_{i=1}^n AUM_i} \times \frac{CBF \text{ Value}_i}{Capital \text{ Employed}_i}$$

Capital Employed: 企業に投下した資本

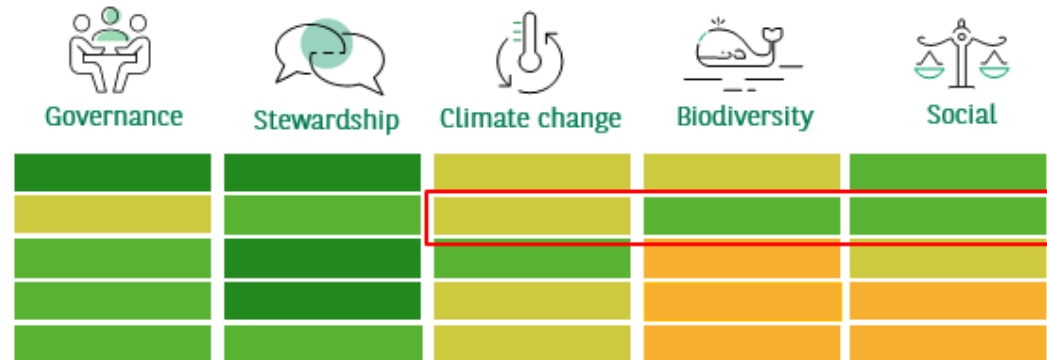
出所：BNPパリバ・アセットマネジメント「サステナブル投資への回帰：検証当社のポートフォリオにおける生物多様性のフットプリント」2022年7月

外部評価 責任投資 2020・2023

英NGO/ShareActionによる責任投資（RI）の評価：世界の大手資産運用会社（77社）を対象

2020年

Rank	Asset Manager	Rating*
1	Robeco	AA
2	BNP Paribas Asset Management	A
3	Aviva Investors	A
4	Legal & General Investment	A
5	Schroders	A



2023年

Rank	Change vs. 2020	Asset manager	Rating	Governance	Stewardship	Climate	Biodiversity	Social	Assets under management ¹ (US\$ billion)	Country
1	0	Robeco	AA	Green	Green	Yellow	Yellow	Green	215	Netherlands
2	0	BNP Paribas Asset Management	A	Yellow	Green	Yellow	Green	Green	755	France
3	2	Aviva Investors	A	Green	Green	Green	Orange	Yellow	499	UK
4	-1	Legal & General Investment Management	A	Green	Green	Yellow	Yellow	Orange	2,065	UK
5	2	Schroders	BBB	Green	Green	Yellow	Orange	Orange	1,064	UK

Source: ShareAction, Point of No Returns, 2023, <https://shareaction.org/reports/point-of-no-returns-2023-part-i-ranking-and-general-findings>

ご留意事項

- 本資料は、BNP PARIBAS ASSET MANAGEMENT FranceをはじめとするBNPパリバ・アセットマネジメント・グループまたはパートナー各社等が作成した資料を基に、BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が「ESG投資の論点整理と今後の方向性」についての情報提供を目的に作成した資料で、ご参考にお示した特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本資料中の過去の実績に関する数値、図表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。
- 商品は、市況環境等により事前の告知なくその仕様が変更されることがあります。
- 当社は、記載された情報の正確性及び完全性について、明示的であるか黙示的であるかを問わず、なんらの表明又は保証を行うものではなく、また、一切の責任を負いません。
- 本資料で使用している商標等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該商標等の権利者に帰属します。また、本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

商号：BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第378号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会/日本証券業協会/一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The sustainable investor for a changing world